

まちづくりの考えは？

問 公民館などの規制緩和で活性化を

答 各行政区の意見を聞き検討



中根 久治 議員

条例は地区公民館などの使用料の徴収を認めていない。

しかし、各区には独自に徴収しているという「うるめたさ」がある。これを解消するために、利用の実態と見直しを問う。

問 使用料を徴収しているのは何力所か。

答 総務部長 コミュニティホームなど10施設中4施設。

健康福祉部長 12施設中5施設。

教育部長 8施設中4施設。

問 徴収に条例上問題はなにか。

答 総務部長 徴収している

る場合は問題である。

健康福祉部長 徴収している場合は問題である。

教育部長 徴収している場合は問題である。

問 使用料の性質は。

答 総務部長 光熱水費相当代と理解している。

問 管理委託費の範囲で運用できる施設は何力所か。

答 収入と支出を単純に差し引きすると、支出が上回っているのは、33施設中28施設である。

問 三ヶ根駅コミュニティホームの有料利用は条例違反か。

答 イベントなどの参加費や受益者負担の徴収は、現行の条例ではできない。

問 活性化につながる方法の考えは。

答 今後の検討課題とする。



スポーツを楽しむ(坂崎公民館)

各部などが所管する施設

所管	施設数	名称
総務部	10	コミュニティホーム・コミュニティセンター
健康福祉部	12	老人憩の家
環境経済部	3	農村センター・農村憩の家
教育委員会	8	公民館



酒向 弘康 議員

1/100 フルマラソンコース設置を

答 中央公園ですすめる



練習する幸田走ろう会

子どもから高齢者まで、安心して健康増進のできるまちづくりのあり方を問う。「こうた健康の日」を町民大運動会の日に。

答 健康福祉部長 「健康こうた21計画」の中で、アンケートなども踏まえて考えたい。

問 都市公園とその遊具の設置年数は。

答 建設部長 最長は35年、20年経過した公園が18カ所中10カ所、遊具は70基中37基が経過している。

問 遊具や施設の不具合を発見したら、通報、対応

できる表示などの明示を。遊具に連絡先表示と製品番号表示をすすめ、表示看板を随時設置していく。

問 公園・広場・グラウンドの健康遊具の設置数は。

答 3基を設置している。

問 公園に「ユニバーサル健康遊具」の設置拡大の考えは。

答 公園の長寿命化計画の中で、地域の意見をもとに検討する。

問 「100フルマラソンコース」を設置し、楽しみながら健康づくりとグラウ

ンドの有効活用を。中央公園で看板表示とラインマークの設置を検討してすすめる。

問 「シェイクアウト訓練」導入を

答 新たな訓練として前向きに検討

問 防災テレホンサービスのの新設の考えは。

答 消防長 火災発生などは、防災行政無線とこうしたタウンメールで登録者に自動配信されており現状で対応する。

問 全国瞬時警報システム（Jアラート）の伝達タイムラグの解消は。

答 タイムラグは機器の性能が向上し10秒が2秒となり飛躍的に短縮した。現状で対応する。

問 防災訓練に「シェイクアウト訓練※」の導入を。

答 総務部長 愛知県が、9月1日に実施予定。本町も町民に参加啓発につとめ、新たな訓練として前向きに検討する。

南海トラフによる震災予想や不審火火災などが発生する中、行政から発信される情報の重要さが増してきている。住民の知りたい情報と防災のあり方を問う。

問 町ホームページに緊急情報用ページの設置の検討を。

答 総務部長 技術面を検討して、実施に向けて考える。

問 三河湾ケーブルテレビでリアルタイムの防災情報の放映を。

答 環境が整いつつある。情報や内容を精査して検討する。

※シェイクアウト訓練 世界各地でおこなわれている大規模な一斉地震防災訓練。「ドロッパ・カパー・ホールド（姿勢を低く、体と頭を守る、揺れが収まるまで待つ）」という自分の命を守る訓練行動のこと。

道の駅の駐車場の拡張を

国交省と拡充を協議する



志賀 恒男 議員



昼時は満車（道の駅）

道の駅筆柿の里・幸田の現状と今後を問う。

問 平成24年度の売上げが減った原因は。

答 環境経済部長 イベントに斬新さや開催日数の

不足、商品のマンネリ化などもある。景気低迷による購入者数も減少。

問 平日の昼時は、駐車場は満車状態。拡張の検討を。

答 蒲郡ICが開通すると交通量が増大するため、国交省と駐車場拡充の協議をしていく。

昨年開駅した岡崎の藤川宿のように、電気自動車用の充電スタンドの設置を。

問 新あいち創造研究開発補助金で、普通充電器を設置するよう調整中。

答 23号バイパス蒲郡IC付近に、新たに道の駅ができる可能性は。

問 今のところ動きはない。来年の指定管理者更新は、現在の合同会社で継続を。

答 4年間の実績を検証し、地域の活性化を図るための運営組織であることを重点にする。

町長 10%配当をしている優良企業であり、判断材料にしたい。

問 県の企業用地の開発見込みは

答 企業庁に要望している

県の企業立地方針との整合性を問う。

現在、町内に県が開発した企業用地はない。連携が遅れた原因は。

答 企業庁に要望している。愛知県産業立地通商課へ職員を派遣し、プロモーション活動や企業訪問など学んでいる。用地確保も、本町を含めるよう企業庁に要望している。

問 企業立地フェアが東京で、5月15日から3日間開催された。町の展示ブースのPR活動の成果は。

答 名刺交換は158人。出展している自治体と意見交換できた。

いきたい。

問 医療機器や福祉用具、介護ロボット産業の可能性は。

答 ヘル스ケア産業は成長戦略と位置づけている。

問 県は、愛知・名古屋産業立地プランをまとめた。町内に県が企業用地を開発する見込みは。

答 愛知県産業立地通商課へ職員を派遣し、プロモーション活動や企業訪問など学んでいる。用地確保も、本町を含めるよう企業庁に要望している。

問 企業立地フェアが東京で、5月15日から3日間開催された。町の展示ブースのPR活動の成果は。

答 名刺交換は158人。出展している自治体と意見交換できた。



水野 千代子 議員

問 消防活動用バイクの導入を

答 現在 配置の考えはない



消防活動用バイク (岡崎市消防本部)

問 国は、市町村が取り組むべき「男女共同参画の視点からの防災・復興計画の取組指針」を公表した。

防災会議の女性委員の割合を高め、避難所の運営者に女性を3割以上、管理責任者は男女の配置を示している。対応は。

答 **総務部長** 平成24年から、新たに3人の女性委員を選定、防災会議でさ

まざまな意見をいただく。今後もより多くの女性委員をお願いしていく。

問 防災リーダー養成研修への女性参加を。

答 女性消防クラブの27人が研修に参加予定。

問 災害時要援護者の福祉避難所の増と直接避難所の受け入れ協定を。

答 施設使用に関する協定を1カ所と締結。

さらに受入施設の拡大を考えていく。

問 中学校にコンテナ式備蓄倉庫を。

答 **消防長** 今後の検討課題とする。

問 道路の寸断や渋滞時に初期消火や情報収集に効果が発揮される「消防活動用バイク」の導入を。

答 県内では、3本部が配備、全国保有率は7%。現在配置の考えはない。

問 つどい作業所「花の苗」活用を

答 町の大会や記念品として広める

答 **健康福祉部長** 50人。

1人あたりの平均月収は、昨年度で7659円。

問 温室で栽培している花の苗の販売先・収益は。

答 個人、女性の会、町内団体、学校、保育園関係

昨年度は23万6760円。

問 公共施設やイベントで花の苗の購入拡大を。

答 町の大会や産業まつりで販売し、また記念品としても広める。

問 物品の調達方針・自標・実績の公表を。

答 実態を確認し、検討をしながら作成していきたい。

問 シルバー人材センターとの調整で、清掃など業務の発注は。

答 安全面や高齢者への配慮を含め、考えていきたい。

平成25年4月、「障がい者優先調達推進法」が施行

障がい者の就労機会の増加や自立を促すことを目的とし、自治体には「仕事の優先発注」を努力義務としている。

問 つどい作業所の通所人数と平均工賃は。

平成25年4月、「障がい者優先調達推進法」が施行

杉浦 あきら 議員



放課後子ども教室 (幸田小学校)

問 施設の活用で待機児童対策を

答 喫緊の課題として前向きに検討

問 放課後子どもプランの役割と位置づけは。

答 **〔住民子ども部長〕** 次世代育成支援行動計画では仕事と子育てを支援し、協議会で事業を検証している。

況は。

答 子ども教室は定員90人、申込み215人、登録156人、待機59人。児童クラブは定員160人、申込み336人、登録287人、待機17人である。

問 相見駅周辺の人口増加

にともない、絶対的な不足となる。図書館・児童館など施設の活用で待機児童対策を。

答 喫緊の課題として、待機児童の解消に向け前向きに検討する。

問 夏休み中のファミリーサポート利用は、高額になり代替案とはならないのでは。

答 施策の一つとして情報提供している。

問 利用時間を延長することはできないか。

答 利用者の意向を把握し検討する。

問 小学校でも希望児童への部活動参加をおこなうことは。

答 **〔教育長〕** クラブ活動は実施している。

問 慢性閉塞性肺疾患の啓発と対策は

答 「健康こうた21計画」で取り組む

問 町内の監視項目にPM2.5の追加を。

答 **〔環境経済部長〕** 全国の測定値と気象状況などの判断が必要であり、町単独の測定は考えていない。

問 住民検診にてCOPDの検査をおこなうことはできないか。

答 **〔健康福祉部長〕** 新たな検査項目の追加は時間的な制約もあり検討する。本年度策定の「健康こうた21計画」の中で役割項目があれば取り組む。

問 本町のCOPD※の患者数は。

答 **〔健康福祉部長〕** 医療機関の受診者は25人。COPD患者が増加すると、タバコの煙にPM2.5が大量に含まれているので、子どもが来るような飲食店では、禁煙指導をおこなうべきでは。

答 保健所から食品衛生協会を通じて奨励している。

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）
 肺気腫と慢性気管支炎を合わせた疾患
 ※PM2.5
 大気中に浮遊している微小粒子状物質



丸山 千代子 議員

問 軽度・中等度難聴児への支援を

答 近隣の状況を見ながら検討

問 乳幼児期から難聴があると言葉の発達の遅れとなる。

コミュニケーションがうまく取れないことから知的発達にも影響するだけに、補聴器など使う。

答 難聴児への支援体制は、**健康福祉部長** 国の補

装具の給付対象者には、購入した費用の9割を補助している。

問 身体障害者手帳の交付対象にならない聴力レベル70デシベル以下の軽

度・中等度で補聴器が必要な子どもの人数は。

答 小学校1人、中学校1人、保育園1人で、幼稚園、在宅の子どもは把握していない。

問 軽度・中等度の難聴児の補聴器購入はすべて実費負担である。手帳交付者と同じように補助を。

答 県は補装具の補助はおこなっていないが県に要望していく。町は近隣市町村の状況を見ながら検討をすすめていきたい。

問 難聴児が早期に適切な療育・教育が受けられる支援体制を。

答 **町長** 調査して対応を

考える。

問 第3子以降の保育無料化継続を

答 26年度まで継続以後は検討

愛知県は少子化対策を一層推進するため、第3子以降児の保育料無料化を実施し、町も県補助制度によって無料化をすすめてきた。

ところが、県は突然、平成25年・26年度は所得制限を導入し有料、その後は廃止するという補助金の見直しを強行。

子育て支援として引き続き無料化を求めるため以下を問う。

問 町は今年度の無料化を継続したが、対象人数は。

答 **住民こども部長** 第3

子無料化の対象者数は12人、半額の対象者は16人、高所得者階層で2人の計30人となる。

問 県補助額と町負担額。



プールで水遊び(豊坂保育園)

答 平成24年度は、400万円の県補助金、25年度の見込みは、おおむね160万円。町の負担は630万円程度の見込み。

問 子育て世帯の経済的負担は重く少子化の要因である。無料化の継続を。

答 県の補助制度は平成26年度まで継続されるが、27年度以降は廃止する方向に決定している。本町

では26年度までは継続、27年度以降については財政状況を見ながら検討をしたい。

そのほかの質問項目

● 福祉医療制度の継続を

国民年金保険料未納者に支援を

対象者が全くわからない



伊藤 宗次 議員

問 過去10年間納めていない年金保険料をさかのぼって払える制度の該当者数は。

答 **健康福祉部長** 年金制度の改正により、10年間とはわからない。過去2年間の未納者は、1793人である。

問 広報でわかりやすいお知らせを継続的に。

答 紙面の関係で非常に難しい。

問 経済的に苦しい未納者支援で保険料の貸付を。

答 貸し付けを本当に必要なとしているかどうか、対象者が全くわからない。

問 東京都千代田区は実施している。

答 全国でも、他に例はない。

問 社協のたすけあい資金の活用を。

答 運用・適用の範囲、金額など難しい。

問 福祉課長の署名、捺印で貸付でき、保証人に代えられる。

答 自立更生の手段と認識している。

問 貸付限度額を30万円以上に引き上げを。

答 近隣の状況を見て、慎重に検討する。

問 行政は知恵を出して。

答 住民への周知は、前向きに取り組む。

問 法を生かすも殺すも政治次第だ。

答 日本年金機構が取り扱うため、把握できない。

問 制度を知って知らせて未納なくなればみんな笑顔になる。

答 広報の周知は、一度検討する。

問 年1回以上ため池の水草除去を

答 地元・土地改良区で管理

問 町内にため池いくつある。

答 **環境経済部長** 66カ所ある。

問 管理者は誰か。

答 幸田土地改良区が主体。

問 池の水質悪化や水草、菱の実の繁茂、「ゴミ流入の実態は。

答 下水道などの普及で汚水の流入は減少し、水質は改善されているが、異常気象などで上流からの水の動きがなく、池に滞



新堤池(岩堀区)

留し水が腐ってくる。

問 庁舎北の大山池。幸中東の新堤池。まどかの郷南の釜ヶ石池の実態は。

答 市街地の池に、菱やホテイアオイが多い。

問 水質悪化と菱の実が枯れ、腐食し悪臭発生の実態つかんでいるか。

答 冬に水草が腐つてにおいが出するため、小船で清掃している。

問 池関係者に苦情と対策求めたら、「上流から流れてくる。私たちも被害

者だ」と。どう指導する。

答 農地・水・保全事業などでため池の管理をすすめている。

問 水草の繁茂、枯草の除去にボートが役立つ。

答 ボート購入を。

問 ボート借上げを、幸田土地改良区と協議したい。

答 毎年、春先と秋口に水草の除去を。

問 地元・土地改良区で管理していく。